

図書館員のおすすめする一冊



平成 30 年 1 月発行

○ 目次

◆ 読書・図書館に関する本	・・・	1
◆ 哲学に関する本	・・・	2
◆ 歴史・旅行に関する本	・・・	3
◆ 社会事情・働き方に関する本	・・・	4
◆ 文化・習俗に関する本	・・・	5
◆ 天文・生物学に関する本	・・・	6
◆ たてもの・暮らしに関する本	・・・	6
◆ 産業に関する本	・・・	8
◆ 芸術・スポーツに関する本	・・・	9
◆ 言葉に関する本	・・・	11
◆ 詩歌・随筆	・・・	11
◆ 海外の文学	・・・	13
◆ 日本の小説	・・・	14
時代小説	・・・	16
スポーツに関する小説	・・・	17
SF・ホラー・ファンタジー	・・・	18
推理小説・ミステリー	・・・	19





読書・図書館に関する本

図書館愛書家の楽園（アルベルト マングエル//著，白水社，2008年）

現在・過去・未来の交錯する場所

宇宙（それを図書館と呼ぶ人びともいる）。

ホルヘ・ルイス・ボルヘス『バベルの図書館』

古今東西、現実や架空の図書館を舞台とした人と本にまつわる物語から、様々な図書館の姿が現れてきます。神話としての図書館、秩序としての図書館、空間としての図書館、権力としての図書館、影の図書館…。

この本は、きっと、あなたを図書館という書物の迷宮に誘ってくれるでしょう。著者によるとドイツの哲学者E.カッシーラーはヴァールブルク図書館を訪れてこう言ったとされています。『ここでは、美術史、宗教と神話と歴史、言語学の歴史や文化が隣り合って並んでいるだけでなく、それらすべてがたがいに関連しあい、一つの概念の中心となっている』また、書架を『魔術師の息づかい』となぞらえた。著者が語る「複雑な思考に沿って配置されたおびただしい数の本は彼の人生を突き動かす原動力になった。」とは、私たち図書館員も現代の魔術師たることを問われているのかもしれない。

010.2/マ

978-4-560-02637-3



挫折を経て、猫は丸くなった。（天久 聖一//編，新潮社，2016年）

今日からあなたも読書名人!!!

名前と表紙に惹かれて借りてしまった1行完結の書き出し名作小説集。著者はあとがきでこう語っている。

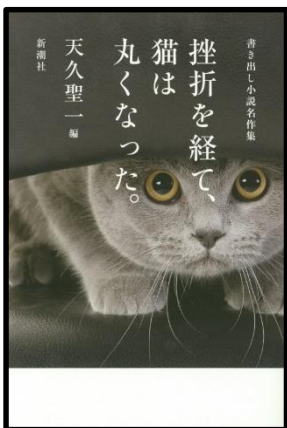
「書き出し小説は続きを創造させるオリジナルな書き出しをという趣旨のもとにネットで募集し、独自の短文表現へと進化を遂げた」

どこから読んでもどこで終わってもよい、かるくてくすっと笑えてしまう、ひょっとしたら自分でも書けてしまうかも……。想像力が膨らむ本です。

あなたのおすすめの短編を探してみませんか？

049/ア

978-4-10-336932-5



哲学に関する本



恐怖の哲学（戸田山 和久 // 著, NHK 出版, 2016 年）

アラコワイキャー体験ってなんだ!?

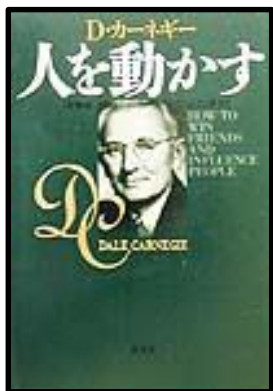
ホラー映画を面白く鑑賞できる人に憧れます。怖いものが大の苦手
で 15 秒の CM すら耐えられない身なので、自分の知らない「ホラー
の魅力」を味わえるのがすごく羨ましかったりします。

読めば読むほどそんな羨ましさがつのってしまうのがこの本です。

「恐怖ってそもそもなんだろう?」から始まって、「ホラー映画はなぜ
怖いのか」「怖いと分かっているのになぜハマるのか」と、少しずつ「恐怖」
と「面白さ」を同時に楽しむホラー映画の魅力が解剖されていきます。
怖がりな人にもホラーが大好きな人にも、ぜひおすすめの一冊です。

104/ト

978-4-14-
088478-2



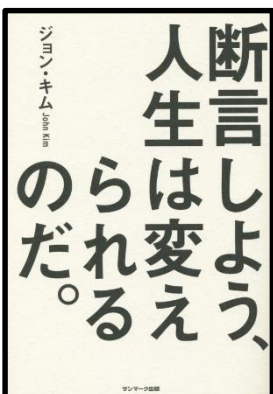
人を動かす（D カーネギー // 著, 創元社, 1999 年）

世界最大の自己啓発本、とされています。

読むと活力がみなぎります。

159/カ

4-422-
10051-3



断言しよう、人生は変えられるのだ。（ジョン キム // 著, サンマーク出版, 2016 年）

日々のヒントが欲しい方へ

毎日の暮らしの中で、多かれ少なかれ、悩み、苦しみ、何かを変え
たいと思うときがあると思います。そのような時、著者は少し視点を
変えるだけで、確実に変えることができると述べています。

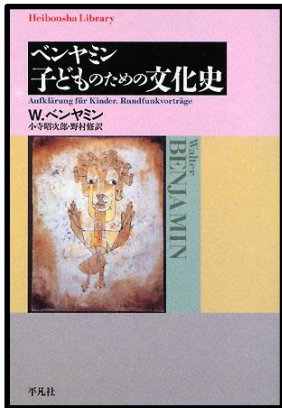
表題から、重い内容はちょっと・・・と遠慮してしまいがちですが、
平易な文章で分かりやすく書かれていますので、人生という大きな悩
みから日々の小さな悩みまで、何かヒントが欲しいなと思っている方
は、気軽に手にとってみてください。何かしらの気づきが得られるか
もしれません。

159/ジ

978-4-7631-
3387-8



歴史・旅行に関する本



ベンヤミン子どものための文化史 (W.ベンヤミン//著, 平凡社, 2008年)

伝説のラジオ番組、パーソナリティはベンヤミン

哲学者ヴァルター・ベンヤミンの子ども向けの放送原稿。
魔女裁判、盗賊団、ジプシー、酒の密売等、学校では教えてくれないダークサイドのエピソード。

ラジオの前で子どもたちはどんなに興味深く聴いたことだろうか。
そう思わずにはいられない。

204/ベ

978-4-582-76657-8



日本を知る 105章 (コロナ ブックス編集部//編, 平凡社, 2001年)

あなたは、日本を語れるか？

当代随一の文化人、作家、評論家が日本を知るための様々なキーワードについて簡潔明瞭な文章で説明しています。辞書とは違い、それぞれ個人の視点で書かれているところに新鮮な発見があるかもしれません。「わび・さび」については白洲正子ですが「相撲」については荒俣宏など

ちょっと意外な変化球も楽しめます。写真も使い全編カラー構成でビジュアル的にも Good! 全文英語解説付きなので外国人に日本の文化を紹介する際にも参考になる1冊です。

291/二

4-582-63390-0



k.m.p.の、台湾ぐるぐる。(k.m.p.//著, 東京書籍, 2017年)

著者は、なかがわみどりとムラマツエツコの2人で活動しているユニットです。本書は観光案内本というより、彼女たちが自由に旅を企画し、そのたびの一部始終を、たくさんのイラストや写真で楽しく紹介している旅行体験記です。

興味をもった国をあちこち旅している彼女たちですが、今回訪れたのは、人気の台湾。約20都市を一カ月かけて鉄道、MRT、バス、バイク、自転車でぐるっと一周まわってその魅力にせまります。

まるで自分が一緒に旅しているような…はたまた、友人から土産話を聞いてくれるような気分になさしてくれます。

他にこの「ぐるぐるシリーズ」で他国を紹介した本もありますので、同じく楽しめます。

292.2/ケ

978-4-487-81006-2

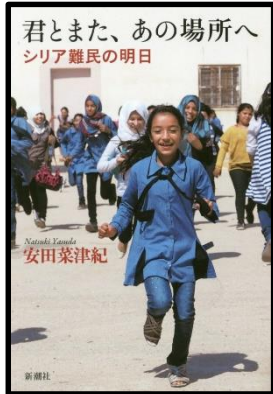


- 『k.m.p.の、ハワイぐるぐる。』(k.m.p.//著, 東京書籍, 2015年)
- 『k.m.p.の、モロッコぐるぐる。』(k.m.p.//著, 東京書籍, 2012年)

社会事情・働き方に関する本



君とまた、あの場所へ（安田 菜津紀//著，新潮社，2016年）



この笑顔に何を感じますか？

表紙の子どもたちの笑顔に惹かれて、この本を手に取りました。彼女たちは、突然住む場所を、家族を、そして故郷を奪われた難民の子どもたちです。著者の安田菜津紀さんが、故郷へ帰る日を待つ人々の悲しみに寄り添い、一人一人にフォーカスを当てシャッターを切り続けた記録です。

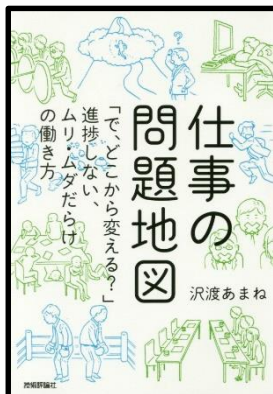
302.2/ヤ

厳しい現実の中で、精一杯生きる子どもたちの姿に心打たれます。私には、この笑顔に明日へ向けた希望があるように感じました。

978-4-10-350031-5

世界の子どもの現状と平和について、もう一度考えてみませんか？

仕事の問題地図（沢渡 あまね//著，技術評論社，2017年）



人の弱さに向き合った「働き方改革」の指南書

業務改善・オフィスコミュニケーション改善士の沢渡あまね氏による「職場の問題地図」の続編。巻頭の折込付録の「仕事の問題 全体マップ」をざっと見るだけでも、「自分の仕事にもあてはまるな」と思える部分が沢山あるはず。

336.2/サ

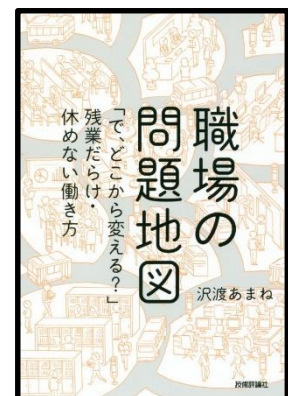
この手の業務改善系の本は理想論に終始しがちなところがあるが、この本は「にんげんだもの」というフレーズを巧みに使い、人間の弱さに向き合いながら、仕事上の工夫や仕事に対する考え方を示してくれる。

978-4-7741-8774-7

「安心して忘れられる環境」という言葉に共感。



こちらも所蔵しています。
あわせてご覧ください。

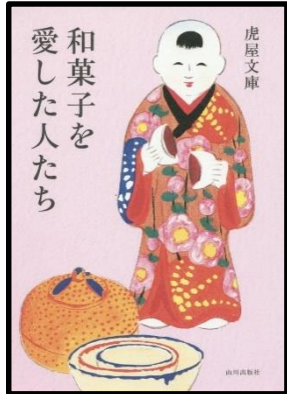


・『職場の問題地図』（沢渡 あまね//著，技術評論社，2016年）



文化・習俗に関する本

和菓子を愛した人たち（虎屋文庫 // 編著，山川出版社，2017年）



今と昔がつながる和菓子

平成12年から虎屋ホームページに連載されてきた「歴史上の人物と和菓子」をまとめた一冊。

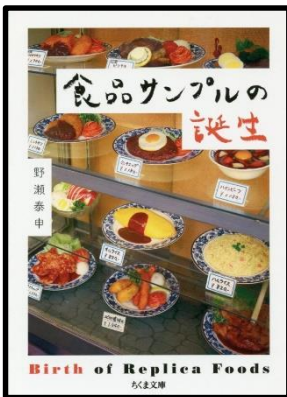
エピソードごとに和菓子のカラー写真があり、眺めているだけでも楽しく、人物ごとのエピソードを読むとさらに興味が沸くおススメの本です。

読んだ後、今日のお茶菓子を口にするとき、あの歴史人物と同じものを食べている気分になれるかもしれません。

383.8/ワ

978-4-634-15104-8

食品サンプルの誕生（野瀬 泰申 // 著，筑摩書房，2017年）



外国人に人気の「食品サンプル」の成り立ち

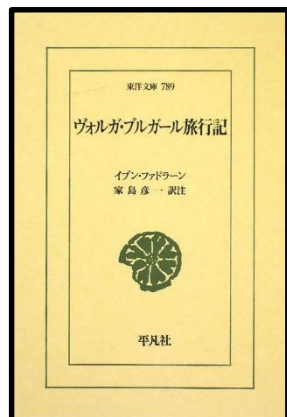
NHK ラジオ番組のビブリオバトル勝ち抜きした人がお勧めした本。著者は当時日経新聞の記者で、“九州の焼き鳥”の取材をしていたときに、「食品サンプル」をみればその地域の大体の特徴がわかるのではないかということに気づいたことが本を書くきっかけだったと述べている。

「食品サンプル」は京都で「料理模型」として製作され、東京の百貨店の食堂に利便性を考えて導入されたことがはじまりらしい。サンプルをみたらメニューを見なくてもどんな料理なのかわかるというのは、せっかちな日本人にぴったりのものである。欧米には浸透しなかったようだ。日本人は目でみて、食して楽しむという2つの食べ方を楽しめる人種なんだというのも新しい発見だった。

383.8/ノ

978-4-480-43456-2

ヴォルガ・ブルガール旅行記（イブン ファドラーン // 著，平凡社，2009年）



未知との遭遇

10世紀アッバース朝ペルシアの官僚イブン・ファドラーンは、カリフの使者としてヴォルガ・ブルガール王国（今のタタールスタン近辺）を訪れます。同じイスラム圏とはいえ、そこは原始ユーラシアの風俗・宗教が色濃く残り、出会うもの全てが驚きの連続でした。

彼が異世界に圧倒されながらも見聞きしたものを記録したのが本書で、特にルーシ人（ヴァイキング）の王の葬儀の場面は圧巻です。訳者、^{やしまひこいち}家島彦一さんの他の翻訳本も大変面白いです。

389/イ

978-4-582-80789-9

天文・生物学に関する本



137億年の物語 (クリストファー ロイド//著, 文藝春秋, 2012年)



宇宙のことを考えると、ちっちゃな事悩んでたなと思う！

一度、さらっと斜めに眺めてほしい一冊。137億年を42のテーマで綴る作品。豊富なイラストと写真で旅するように歴史を感じる。科学と工学を担当する記者としての経験から文系、理系の双方から物事を観察する著者ならではの科学と歴史が融合する世界。この世界で、日常の嫌なことをスカッと爽やかに！

450/口

978-4-16-374200-7

世界を、こんなふうに見てごらん (日高 敏隆//著, 集英社, 2010年)



やわらかな まなざしをあなたに！

動物行動学者である著者のいきものへの愛、やわらかなまなざしを感じることができるエッセーです。著者の言う「多様性」は人間の世界だけでなく、自然界全体を見渡しています。文章も教訓的なものでなく、やさしく語りかけています。

480/ヒ

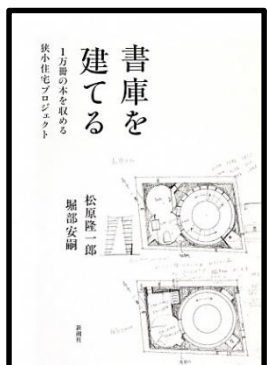
「はじめに」にある、「いきものを見つめる原点」が著者の持つやわらかなまなざしにつながっているように感じます。私たちも、あらためて自然をじっくり観察し感じることで、違った視点を持つことができるかもしれません。

978-4-08-781436-1



たてもの・暮らしに関する本

書庫を建てる (松原 隆一郎//著, 堀部 安嗣//著, 新潮社, 2014年)



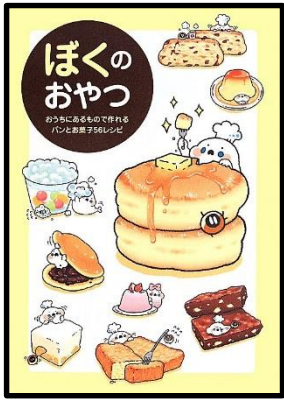
自分だけの書庫を作るなら、どんな建物にしますか？

納骨堂兼書庫を建てることにした施主。この本が他の建築本と違うのは、施主である松原さんが家系のルーツを辿るところから話が始まることにあります。というのもこの方、社会経済学者なんです。

527/マ

膨大な量の本の並べ方にも、こだわりがあり、1日過ごす場所にもなるので、ただ本が納められるだけでは物足りません。しかし、土地は超狭小。この難題に、建築家・堀部安嗣は何を考え、設計に落とし込んでいくのでしょうか？施主と建築家のまるで往復書簡のようなこの本。建築好きでなくても、ドキュメンタリーとして読み応えがあります。

978-4-10-335291-4

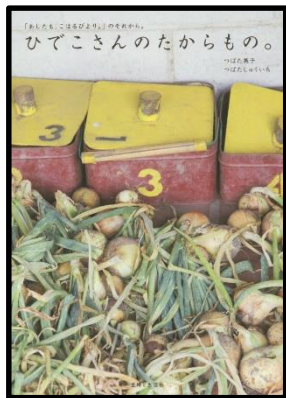


ぼくのおやつ (ぼく // 著, ワニブックス, 2014 年)

夢のプ暑いパンケーキが (時間はかかりますが) 簡単に、しかもホットケーキミックスで作れます。
 全てのレシピが簡単で、しかもかわいいイラストで書かれていますので、お子さんとも楽しめると思います。

YA596/ボ

978-4-8470-9225-1



ひでこさんのたからもの。(つばた 英子 // 著, つばた しゅういち // 著, 主婦と生活社, 2015 年)

憧れの生活…

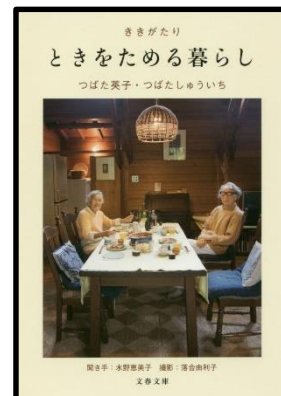
87 才と 90 才のつばたさんご夫婦の菜園生活が丁寧に描かれています。
 菜園生活にとどまらず、衣・食・住にまでステキなセンスが光っています。また、自宅で収穫された野菜、フルーツを使った、写真付きレシピが満載なのも嬉しいです。
 昨年、ご夫婦のドキュメンタリーが「人生フルーツ」という映画になり最高でした。つばたさんの本は上記タイトル以外にも数冊あり、お薦めです。

590.4/ツ

978-4-391-14687-5



こちらも所蔵しています。
 あわせてご覧ください。



- ・『あしたも、こはるびより。』(つばた 英子 // 著, つばた しゅういち // 著, 東京書籍, 2015 年)
- ・『ときをためる暮らし ききがたり』(つばた 英子 // 著, つばた しゅういち // 著, 文藝春秋, 2018 年)

きものに強くなる (世界文化社, 2016 年)

日本の着物に親しんでみたい方へ

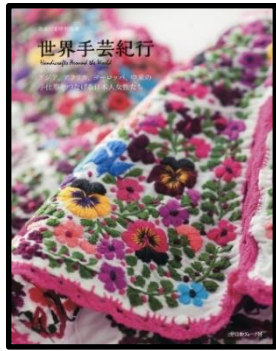
基礎から押さえたい方でも安心の一冊です。
 着物や帯の種類、人生の節目や季節ごとの装い、着物の文様、江戸小紋や絞りの種類などがカラー写真で多く掲載されており、眺めているだけでも楽しく、読んでみるとさらに着物に詳しくなれるオススメの本です。
 女性の装いが多いのですが、巻末の着付けは男女別に乘っています。和服のたたみ方について、帯の種類ごとのたたみ方まで載っているのもポイントです。

593.8/キ

978-4-418-16430-1



世界手芸紀行（日本ヴォーグ社、2017年）



刺繍から世界を覗いてみませんか？	
<p>手芸が好きで、海外旅行に行くと、旅先の伝統工芸品を見て回っています。なかでも、メキシコ・オアハカの刺繍は色鮮やかで、とても美しいものでした。製作者の女性が手間をかけ、一針一針に思いを込めて仕上げたのだと思います。この本では、こうした手仕事に心を動かされ、現地で活動している日本人女性が紹介されています。彼女たちの活動や人生とともに、豊富な写真で紹介される刺繍の美しさは圧巻です。</p>	594/セ
	978-4-529-05630-4



人生がときめく片づけの魔法 [1]（近藤 麻理恵 // 著，サンマーク出版，2011年）	
<p>断捨離とは少しちがう“こんまり流”片づけの本。 タイトルの“片づけの魔法”とは？ この本を読むときっと片づけを始めたくなるはずです。</p>	597/コ
	978-4-7631-3120-1

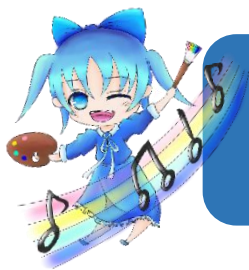
産業に関する本



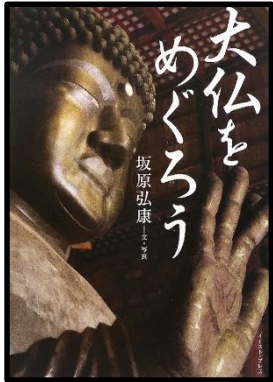
世界で一番美しい猫の図鑑（タムシン ピッケラル // 著，エクスナレッジ，2014年）	
<p>それぞれの猫の魅力がたっぷりと紹介されています。大伴の美しい写真と、猫種それぞれの歴史があって、とても癒されます。</p>	645/コ
	978-4-7678-1735-4



欲望する「ことば」（嶋 浩一郎 // 著，松井 剛 // 著，集英社，2017年）	
「ことば」が支配する社会を考える	
<p>「女子力」「イクメン」「インスタ映え」「草食系男子」様々なキーワードが飛び交う現代、その言葉がどのように生まれたか、社会にどんな影響を及ぼしているか考えたことはありますか？いつの間にか生まれ、社会に定着した言葉や概念を「社会記号」と呼ぶそうです。</p> <p>この本はそのような「社会記号」がどのように生まれ、社会に根付いていくかマーケティングの視点で考察しています。その過程で「ことば」が表す現代人の欲望も見えてきます。紋切型のモノの見方から逃れて、クリティカルに「ことば」を捉えることができるでしょうか。</p>	675/シ
	978-4-08-721011-8



芸術・スポーツに関する本



大仏をめぐる (坂原 弘康 // 文 写真, イースト・プレス, 2010 年)

個性あふれる大仏に会いに出かけよう

国内には 300 体を超える大仏が建立されていて、その大きさや種類は様々。魅力を存分に紹介。

姿・かたちを見るだけでも楽しめ、歴史やエピソードを知れば、さらに楽しさ再発見。

718/サ

978-4-7816-0465-7



ねぼけ人生 (水木 しげる // 著, 筑摩書房, 1999 年)

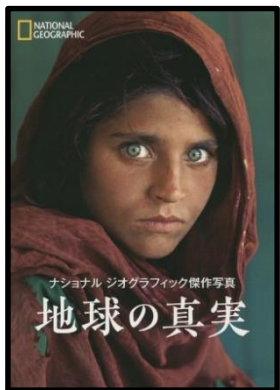
水木しげるの半生

水木しげるさんの、生き生きした子ども時代、壮絶な戦争体験、極貧生活、売れっ子になってからのこと…。

ものすごく大変なことも、えー！と思うことも、さらりと語られていて、そのギャップがまた楽しくどんどん読めます。水木さんの魅力に引きつけられてしまいました。

726/ミ

4-480-03499-4



地球の真実 (ナショナルジオグラフィック // 編著, 日経ナショナルジオグラフィック社, 2015 年)

見れば見るほど引き込まれる写真集

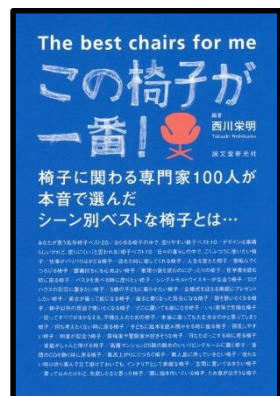
色鮮やかで美しい地球、そこで力強く生きる動物達。しかしそれだけではなく、目を背けたくなるような真実を、容赦なく突き付けてくる写真集です。

掲載されている写真は、人の心に訴えかける力を持ち、人の心を動かすものばかり。

あなたはこの写真を見て何を思いますか？

748/チ

978-4-86313-338-9



この椅子が一番! (西川 栄明 // 編著, 誠文堂新光社, 2017 年)

椅子愛好者と入門者のための究極の一冊。

デザイナーズチェア、皆さんご存知ですか？

こうした椅子を収集したり、愛でたり、憧れたりしているマニアックな趣味を持つ人種が世の中にはいます (私もその 1 人です)。

見た目にかわいい&かっこいい椅子たち。しかし、実際の座り心地やユーザーから見た魅力については、これまでどんな本にもあまり書かれていませんでした。「デザインは素晴らしいけれど、座りにくいとされる) 椅子ベスト 10」や「腰痛持ちにも心地よい椅子」など、椅子選びの参考にもなります。

758/ニ

978-4-416-61743-4

作曲をしたい人の本（久米 大作 // 著，成美堂出版，2014 年）



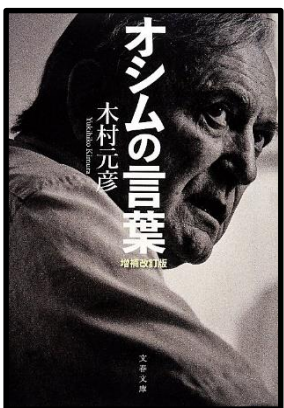
コツを掴めば誰にでも作れる！	
<p>本書では、ヒット曲を参考に初めての作曲の手順から応用、知っておきたい音楽理論まで、幅広く分かりやすく記載されています。まずはじっくり読んでから作曲にチャレンジしてみるのもよし。難しいことは分からないからヒントだけ欲しい！という方は、「ミニ実践」や気になる項目だけを読んで、鼻歌から初めてみるのもよし。</p> <p>解説をより理解しやすくするCDがついているのもポイントの一つです。音楽理論を学ばず、実践だけで鍛えてきた方にもおすすめ！</p> <p>この本をきっかけに、自分の世界を広げてみてはいかがでしょうか？</p>	716/ク
	978-4-415-31553-9

地図にない国からのシュート（今 拓海 // 著，岩波書店，2003 年）

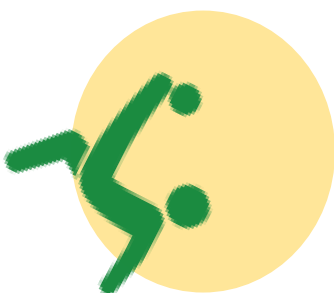


ぜったいに叶えたい願いが、そこにはある。	
<p>この本の舞台となるのは“パレスチナ”です。</p> <p>パレスチナ問題で有名なこの地域は、まだ国連でも正式な「国」とは認められておらず、「国」としては地図にも描かれていません。</p> <p>しかし、そんな彼らにもサッカーの代表チームがあり、他の「国」と試合を行っています。いったいなぜ、彼らはそんな厳しい状況下にあっても、サッカーの試合を行うのでしょうか？</p> <p>彼らの切実なる願いを知った時、「地図にはない国」というタイトルに込められた著者の強い思いが伝わってくる、そんな素敵作品です。</p>	783/コ
	4-00-023819-1

オシムの言葉（木村 元彦 // 著，文藝春秋，2014 年）



言葉が語る人生論 “イビツァ・オシム”	
<p>元サッカー日本代表監督、イビツァ・オシム。</p> <p>ユーゴスラヴィア内戦など、激動の半生を歩んできた彼が語る言葉は、「オシム語録」と呼ばれるほど、多くの人々を魅了してきました。</p> <p>この本では、そんな「人の心を動かす名将」でもあるオシムの言葉を、彼が過ごしてきた半生とともに紐解いていきます。単なるサッカー監督としてではない、人生の哲学者ともいべき彼の言葉は、私たちに何を伝えてくれるのでしょうか？</p> <p>数々の穿った言葉で紡がれる「オシム」の物語を、お楽しみください。</p>	783/キ
	978-4-16-790020-5



言葉に関する本



論文の書き方（清水 幾太郎 // 著，岩波書店，1959 年）

自らの言葉に、責任を。

「硬そうな本だなあ」とあなどるなかれ。
著者は“日本語の名手”清水幾太郎。彼が、自らの文章の書き方や、文章を書く際の心構えについて解説しているのが本書です。

「が」という言葉への意識、言い換えの大切さなど、初学者にとっての“学びのヒント”となるエッセンスが、たっぴりと詰まっています。

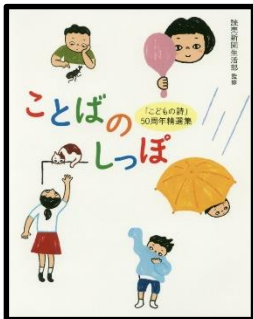
文章について学びたい方には、一番はじめに手に取ってほしい一冊です。

816/シ

4-00-
415092-2



詩歌・随筆



ことばのしっぽ（読売新聞生活部 // 監修，筑摩書房，2017 年）

何気ない子どものつぶやきに心がくすぐられます

日常でつぶやいた小さな子どもの詩や中高生の詩まで、精選された詩が多数掲載されています。思わずクスリとしてしまうものから、胸が熱くなるものまで「子ども」とひとくくりには出来ないものばかりです。

大人より「大人」な考えを持つのではと思える一冊でした。

911.5/コ

978-4-12-
004965-1



金平糖の味（白洲 正子 // 著，新潮社，2010 年）

こんなとらえ方もあるかもしれない

「彼が似ていたのは金平糖のほうで、庶民的な味と、平凡な甘さの中に、頑固な角を宿していたのである。」

明治生まれの作者がそう記すのは自らの父に関すること。薩摩隼人の海軍軍人・樺山伯爵の孫娘、白洲正子が綴るエッセイ集。

大正昭和平成まで生きた作者の時代を感じるエピソード、かと思えば夫婦や幸福についての考え方には今に通じるものを感じ、多様なテーマを楽しみつつ、“こんなとらえ方もあるかもしれない”と思えた一冊です。

914.6/シ

978-4-10-
137911-1



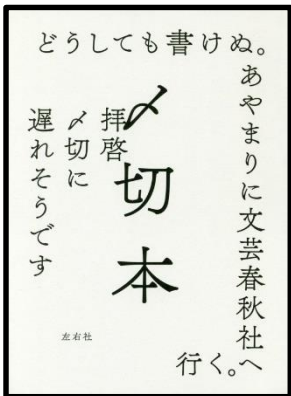
置かれた場所で咲きなさい (渡辺 和子 // 著, イースト・プレス, 2010 年)

<p>著者は、キリスト教カトリックの修道女。(2016 年没) 引用されている詩や名言も心に、沁みるものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまくいかない時こそ、下に根をはるとき ・いのちが大切だと言われるより、あなたが大切だと言われたら生きていける (CM からの引用もあり) <p>今の境遇にこんなはずでは…とっておられる方や、少し辛い日々を過ごしておられる方に、手にとって貰いたい一冊です。 本の表紙のデザインもとても可愛いです。</p>	<p>914.6/ワ</p>
	<p>978-4-344-02174-7</p>



日々ごはん 1 (高山 なおみ // 著, 中央出版株式会社アノニマ・スタジオ, 2004 年)

<p>生きる事は食べる事</p> <p>料理家・高山なおみさんの日記と夕食の様子をまとめた一冊です。 日常の中で高山さんを通して発見する事にハッとさせられます。大人に子どもの感性が宿っているという感覚でしょうか。</p> <p>また、日々綴られているごはんが美味しそうで、ごはんを作るのがめんどろな日も、読むと不思議と作る気力が湧いてくる、そんな色々な魅力がつまった素敵一冊です。</p>	<p>914.6/タ</p>
	<p>4-87758-602-4</p>



〆切本 [1] (左右社編集部 // 編, 左右社, 2016 年)

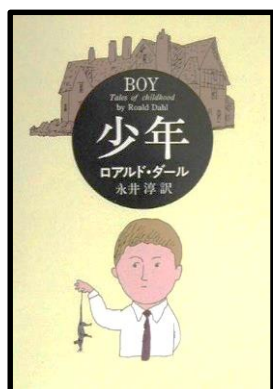
<p>文章の達人 VS 〆切</p> <p>彼の文豪や稀代の文士、果ては当代の人気作家まで 90 人の書き手の〆切にまつわる文章を彼らのエッセイや手紙、日記、対談から掘り起こして一冊にまとめたのがこの「〆切本」。</p> <p>文章の達人たちは〆切という絶対的な敵とどう闘ったのか？ そこには涙ぐましくも、愛おしいそれぞれの物語があったのです。</p>	<p>914.6/シ</p>
	<p>978-4-86528-153-8</p>



世界音痴 (穂村 弘 // 著, 小学館, 2002 年)

<p>お寿司屋さんの大将へ声が掛けられないあなたに</p> <p>文章の書き方がとても綺麗で、一篇一篇が短いので、すらすらと軽く読めてしまうエッセイ本です。</p> <p>周りに馴染めない違和感や、周りを気にしすぎてしまうゆえの失敗、周りへのあこがれなど、一見ネガティブなエピソードが多いですが、情けなさや暗さを残しつつも、くすくす笑いながら読めるよう綴られています。</p> <p>自分の抱えている情けない部分も、隠さず開き直って笑ってしまってもいいんだと、少し明るくなれる一冊です。</p>	<p>914.6/ホ</p>
	<p>4-09-387373-9</p>

海外の文学



少年（ロアルド ダール//著, 早川書房, 2000年）

「チョコレート工場の秘密」の秘密

ロアルド・ダールの自伝

ロアルド・ダールの子ども時代を知る事ができる自伝。
 ダールが過ごした学校生活での出来事、友達と仕組んだいたずら、
 家族との思い出など、エピソードの一つ一つが輝いている。ダールの
 児童文学作品の根底を見る思いがする。
 ダールの児童文学がお好きな方に、是非おすすめしたい一冊です。

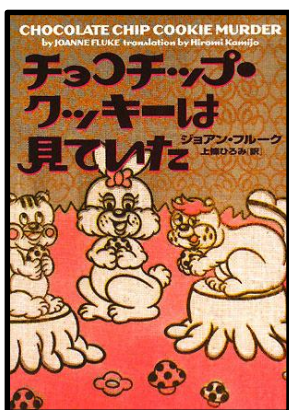
930/ダ

4-15-
071257-3

チョコチップ・クッキーは見ていた（ジョアン フルーク//著, ヴィレッジブックス, 2003年）

お菓子と共に事件解決。名探偵ハンナ、ここに誕生！

この本はお菓子好きがはまるミステリーです。
 ミネソタの田舎町でクッキー・ショップを営むハンナ・スウェンセン。
 彼女の手作りクッキーがとてもおいしそうで、レシピが載っているため、作りたくなります。
 そんな彼女が殺人現場に出くわして、義弟である保安官助手を助けることに。
 町の人達にさりげなく聞き込みをして、容疑者の名前を一人ずつ消していく。
 犯人にたどりつくまでの彼女の活躍を乞うご期待！
 最終章でハンナに恋の予感が…。しかも三角関係？



933.7/フ

978-4-
86332-672-9

車輪の下（ヘルマン ヘッセ//作, 岩波書店, 2009年）

大人になった今、もう一度読みたい

初めて読んだのは高校生の時。周囲の期待を背負って、日々勉強に
 励む主人公。大人たちの圧力や学校の厳しい規則によって徐々に壊れ
 ていく描写は、受験を控えた当時の自分にとって、かなりの衝撃でし
 た。悩み苦しみながらも成長していく姿が、痛々しくも美しく描かれ
 ています。
 誰でも一度は、自分の心と相反すること強制された経験があるのは
 ないでしょうか。自分が主人公だったら、どのような結末になってい
 たらどうかと、想像せずにはいられません。

943.7/ヘ

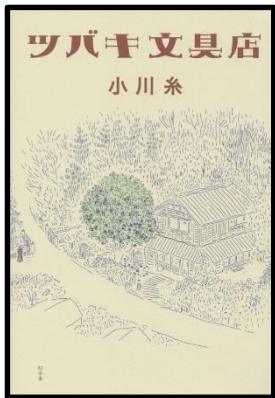
4-00-
324352-8





日本の小説

ツバキ文具店 (小川 糸//著, 幻冬舎, 2016年)



手紙ってこんなにも人の心を伝えるものだったんですね。
鎌倉を舞台に代書屋を営む鳩子と依頼人、そして、鳩子を取り巻く人々の物語。

たいせつな人に宛てた手紙、思いを込めた手紙。どのような思いで手紙を出そうとしているのか、思いを伝えるためにはどのように記せばよいのか。そのために、鳩子は文章だけでなく、字体はもちろん、使用する筆記用具まで、その依頼人の思いに合うものを選びます。

メールやラインが意思疎通の主流となってきた今だからこそ、あらためて手紙にはさまざまな思いを込められていること、思いをつたえることができるものであることを感じました。読み終わったとき、「あ、あの手に手紙、書いてみようかな」そんな気持ちになる一冊です。

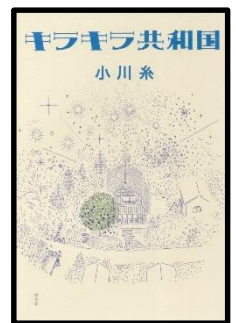
鳩子を取り巻く人々のあたたかさでほんわかとなり、そして、なにより舞台となった鎌倉の様子が鮮明に目に浮かんでしまい、思わず「鎌倉に行こう」と思ってしまう。

F/才

978-4-344-02927-9



『ツバキ文具店』の続編です。あわせてご覧ください。



・『キラキラ共和国』(小川 糸//著, 幻冬舎, 2017年)

また、桜の国で (須賀 しのぶ//著, 祥伝社, 2016年)



ポーランドが生んだピアノの詩人、
ショパンの「革命のエチュード」が聴きたくなる！

今年、サッカーのワールドカップで対戦することになる国、日本では余り馴染みがない(と思われる)ポーランドを舞台に、第二次大戦時のナチス・ドイツに侵攻される過酷な状況をロシア人の父を持つ日本人大使館員を通して描かれた作品。

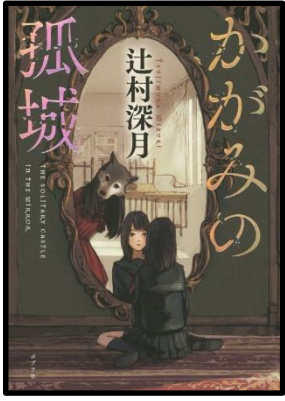
日本と同盟を結ぶドイツに対し抵抗活動を繰り返す主人公とポーランド人の仲間たちの勢力は徐々に弱まっていく。本書はその状況とともに、周辺大国に蹂躪され一時は歴史からも消えた国ポーランドの暗い過去の事実を織り込みながら進んでいく。

先の大戦は日本だけではなく関連した全ての国々に悲劇をもたらした。そのことを改めて考えさせられる。

F/ス

978-4-396-63508-4

かがみの孤城（辻村 深月 // 著, ポプラ社, 2017年）



はじめに「かがみの孤城」を本屋で見た時、普通のフィクション小説かと思ったが、あまりにも人気があったので読んでみることに。

本を読み始めて数分…。気づいたら、いつの間にか本に夢になっていた。「学校に行けない」7人の中学生、その登場人物一人ひとりの深い背景が細かく描かれていて、特に数字の「7」にまつわる仕掛けの数々は圧巻。何度もふいに現れる仕掛けや場面を夢中で読み進み、頭の中で全てのストーリーが繋がった最後の場面。その瞬間は本当に清々しかった。

学生の時にこの本に出会えたら、きっと世界が広がっただろうと思う。

F/ツ
YAF/ツ

978-4-591-
15332-1

医学生（南木 佳士 // 著, 文芸春秋, 1998年）



進路への明確な動機が見つからないあなたへ

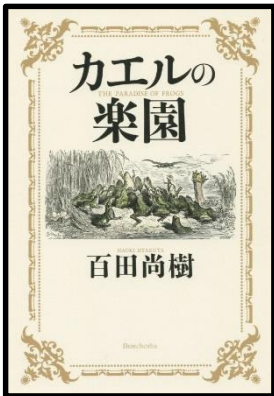
舞台は新設間もない秋田大学医学部。そこに入学し、動機も志もバラバラな教養課程を終えた4人の医学生。開業医の家に生まれ、文系的な科目に興味を引かれつつも見栄とプライドのため医学部進学を決めた和丸。田舎の農村で弁護士を夢見るが、村の事情と自身の恋愛のために医学部に入った京子。現役で東大文学部に落ち、世間の医学部ブームに乗って医学部を受けただけの雄二。教師をしていたが、二人の教え子の事故死を機に医学を志した28歳の修三。

4人はいかにして医師となっていくのか。芥川賞作家南木佳士の自伝的青春小説。

F/ナ

4-16-
754504-7

カエルの楽園（百田 尚樹 // 著, 新潮社, 2016年）



衝撃の一冊

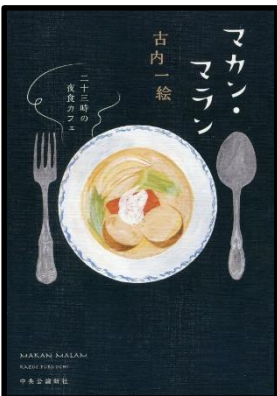
読みながらも読み終えても、かなり考えさせられました。憲法9条の定義に対し、強いメッセージをカエルの国（寓話的に）で表現している。

一人でも多くの人に読んでほしいと思いました。

F/ヒ

978-4-10-
336412-2

マカン・マラン（古内 一絵 // 著, 中央公論新社, 2015年）



癒しの夜食カフェによるこそ

ある町の路地裏に昼と夜とで装いを変える店がある。そこはその店を必要としている人だけがたどりつける場所。お針子の賄いのために作っていた夜食が、いつしか訪れる人を癒す夜食カフェになった。

ドラッグクイーンのシャルがつくる体に優しい料理と言葉に明日への元気がもらえる1冊。

F/フ

978-4-12-
004788-6



ひかりの魔女（山本 甲士 // 著，双葉社，2014 年）

色々な問題を抱えている一家と同居する事になったおばあちゃん。このおばあちゃんのお料理、優しいうそ、人とのつながりで家族を立て直す。

あたたかく、ほっとする作品です。

このおばあちゃんのお料理、食べてみたいです。

F/ヤ

978-4-575-23853-2



時代小説



うめ婆行状記（宇江佐 真理 // 著，朝日新聞出版，2016 年）

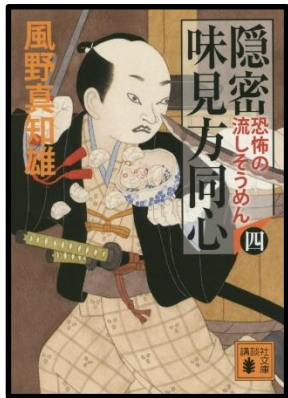
2015 年に亡くなられた宇江佐真理の遺作となる未完の長編時代小説。

江戸の暮らしとていねいな梅しごと。

時代小説を読んでもみようと思っている方におすすめの最初の本です。

F/ウ

978-4-02-251371-7



隠密味見方同心 4 恐怖の流しそめん（風野 真知雄 // 著，講談社，2015 年）

この一冊が導火線、著者の本はほとんど読んだ！

単純にタイトルに引かれて手に取りました。主人公の魚之進の兄が生前に言い残した「この世のものとは思えないほど美味しい料理」と兄の死の関連を謎解くシリーズの第 4 作。著者の独特な文章表現で江戸の町と東京の町並みがオーバーラップする物語。

思わず引き込まれ、数ヶ月で著者の風野真知雄氏の作品のほとんどを読みました。

F/カ

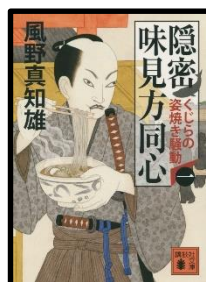
978-4-06-293192-2



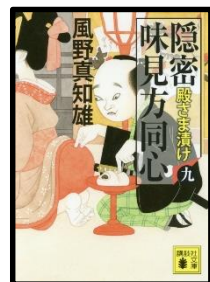
『隠密味見方同心』シリーズ

『隠密味見方同心』シリーズは 9 巻で最終巻となりました。

松戸市立図書館では、シリーズ全て所蔵しております。この機会に、シリーズ一気読みしてみたら？



1 巻目 『くじらの姿焼き騒動』



最終巻 『殿さま漬け』



沈黙の王 (宮城谷 昌光 // 著, 文藝春秋, 2017 年)

甲骨文字の誕生

古代中国の物語。
雪原を歩く赤い足の鳥、その美しい足跡。これを見た武丁により文字は生まれたという。

武丁は商王朝の名王。彼は^あ啞者でもあった。

F/ミ

978-4-16-790886-7

スポーツに関する小説



チーム [1] (堂場 瞬一 // 著, 実業之日本社, 2010 年)



この本は、箱根駅伝が舞台で、その中でも「学連選抜」という注目が薄いチームに焦点を当てています。「学連選抜」というのは、箱根駅伝出場を逃した大学の中から、予選で好タイムを出した選手が選ばれる混成チームです。即席チームなので考えが合わず、対立する事が多々あります。そんな学連選抜のメンバーがぶつかり合いながらお互いに成長し、箱根駅伝優勝を狙います。

物語を読んでいくと、臨場感にあふれ、登場人物の心情や体調などハラハラドキドキしてしまいます。箱根駅伝がなぜ、こんなに人々を感動させるのかを改めて感じる事ができ、とても感動する作品だと思います。ぜひ一度読んでみて下さい。

F/ド

978-4-408-55023-7



続編もあります。

・『チーム 2』(堂場 瞬一 // 著, 実業之日本社, 2015 年)

優駿 上巻/優駿 下巻 (宮本 輝 // 著, 新潮社, 1989 年)

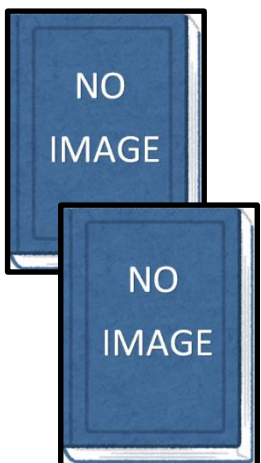
ダービー馬のオーナーになることは、
一国の宰相になるよりも難しい？

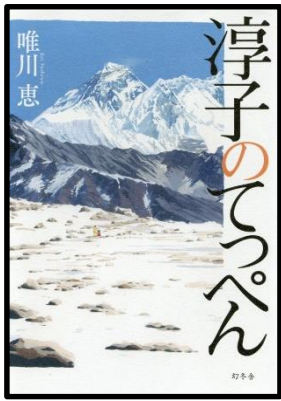
毎年春の終わりに行われる競馬の祭典、日本ダービーの正式名称は「東京優駿」といいます。その年の3歳馬(以前は4歳馬)にとって最も価値のある賞と言っても過言ではないでしょう。馬の生産者、馬主、騎手、調教師等、全ての競馬関係者にとっても特別なものです。

この本は、一頭のサラブレッドをめぐり、様々な人間模様を描きながらひとつの大きな夢をかなえようとする物語です。今後も読み継がれてもらいたい一冊です。

F/ミ

4-10-130706-7/
4-10-130707-5





淳子のでっぺん (唯川 恵 // 著, 幻冬舎, 2017年)	
<p>登山家・田部井淳子さんの女性初のエベレスト登頂のお話。当時の大変さや厳しさが伝わってくる、人間味あふれる物語。大病を患いながらも前向きに生きる勇氣素晴らしかったです。見習いたいと思いました。</p>	F/ユ
	978-4-344-03168-5



SF・ホラー・ファンタジー

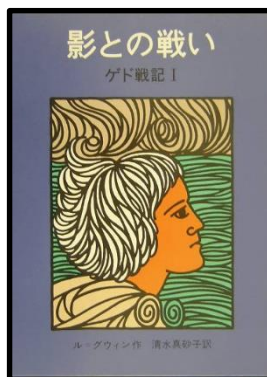


闇の守り人 (上橋 菜穂子 // 著, 新潮社, 2007年)	
<p>闇に向き合うとき、人は何を感じるのでしょうか。 綾瀬はるかさん主演でドラマ化されたことで、ふたたび人気となった「守り人」シリーズの第2作目にあたる作品です。 主人公の女用心棒バルサがなぜ養父とともに祖国カンバル王国を離れ、刺客に追われながら、用心棒として生き抜いてこなくてはならなかったのかが描かれています。 なぜ、バルサは再び祖国を訪れようとしたのか、山の底の儀式場で何を感じたのか。私たちは自分自身の心や過去に向かい合うことに臆病になりがちですが、そんな私たちの背中をそっと押してくれる物語です。 おなじように、U・K・ル=グウィンもファンタジー小説「ゲド戦記 影との戦い」の中で、主人公ハイタカが影に怯え、やがて影が何者かに気づき、立ち向かう様子を描いています。闇と影、主人公の生きる世界は異なれど、自らに向かい合うという部分で共感したのを覚えています。よろしかったら、こちらも手にとってみてください。</p>	F/ウ
	978-4-10-130273-7



★『守り人』シリーズ

新潮文庫版『守り人』シリーズは、一作目の『精霊の守り人』から七作目の『天と地の守り人』、番外編にあたる短編集2作を所蔵。世代を問わず楽しめる、壮大なファンタジー小説です。

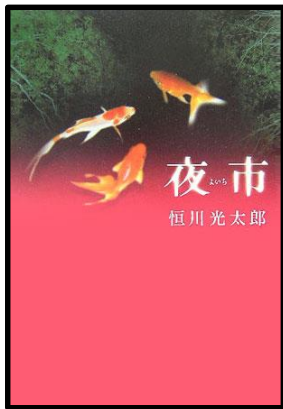


★『ゲド戦記』

上でふれている『ゲド戦記』。単行本、岩波少年文庫版、ソフトカバー版など、さまざまな種類を揃えています。

世界三大ファンタジーのひとつとされる名著です。

『ゲド戦記 1 影との戦い』(ル=グウィン//[著], 岩波書店, 1999年)



夜市 (恒川 光太郎 // 著, 角川書店, 2005 年)

あの瞬間を後悔し続けるなら…

黄泉の河原で拾った石、なんでも斬れる刀、老化が早く進む薬…屋台にも似た店が並び、不思議な品々が並ぶ市場「夜市」。一度入れれば品を買うまで抜け出すことができない夜市に、友人の裕司に誘われてやってきた“いずみ”は、裕司がある目的を持って訪れたことを知りません。小さい頃、弟と引き換えに野球の才能を望んだ裕司が、再び願うことは…。

F/ツ

淡々と書かれた文脈は、怪しげな雰囲気「夜市」とマッチし、その世界に誘ってくれます。隠された真実、そして裕司の選択が、胸に突き刺さるラストを迎えさせます。

4-04-873651-5



百年法 上/百年法 下 (山田 宗樹 // 著, 角川書店, 2012 年)

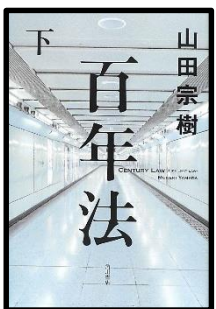
不老不死はじめました

人類の夢、不老不死が実現した世界はどうなるのか。そんなSFの典型のような設定に対して、登場人物となる政治家たちの言動を始めとする人間の描き方には嫌味なほどのリアルさを感じます。

F/ヤ

誰もが一度は考える不老不死とそれに伴う確実な死は社会にどんな影響を与えるのか、寿命の意義を考えさせられる作品です。

978-4-04-110148-3/
978-4-04110191-9



推理小説・ミステリー



代償 (伊岡 瞬 // 著, KADOKAWA, 2014 年)

この本を読まない「代償」は大きい！

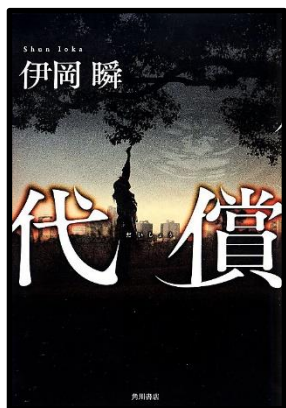
ある事件をきっかけに不遇な少年時代を送った主人公が、やがて弁護士となり、事件の真相に迫るミステリーで、最初から最後までハラハラドキドキ、一気に読めました。途中、あまりに衝撃的な場面で、思わず「えーっ」と声が出てしまった。

F/イ

刑事事件や裁判などを扱った数ある小説の中でも珠玉の作品だと思います。

978-4-04110710-2

P.S. 小栗旬主演のドラマ（ネット配信）にもなっているようです。





ホワイトラビット (伊坂 幸太郎 // 著, 新潮社, 2017年)

キーワードはオ・リ・オ・ン座

仙台の住宅街で発生した人質立てこもり事件。通称「白兔(しろうさぎ)事件」を軸に展開する物語は、ハラハラ、ドキドキの連続に予想外の結末と、伊坂ファンはもちろん、初心者の方でも一気読み間違いなし! の作品です。

F/I

978-4-10-459607-2



ツノハズ・ホーム賃貸二課におまかせを (内山 純 // 著, 東京創元社, 2017年)

新宿を舞台にしたほんわか不動産ミステリ

ツノハズ・ホーム新宿本社賃貸二課の営業員澤村は典型的な「いい人」だが、営業成績はさっぱり。そのパートナーとして多摩支店から赴任してきた後輩で営業成績トップの神埼くらら。凸凹コンビの二人は徐々にお互いを理解しあい、様々な不動産にまつわるトラブルを解決していく。

F/U

章立ても「大家の事情」「入居者の事情」「入居申込人の事情」「その土地の事情」の4章で構成され、テンポ良く話が進んでいくので、さくさく読み進めることができる。

978-4-488-02777-3



東京異聞 (小野 不由美 // 著, 新潮社, 1999年)

闇夜に蠢く妖しの世界

明治29年の帝都。そこは魑魅魍魎が跋扈するもう一つの東京。文楽人形の娘と黒衣の人形遣いに、赤姫姿の闇御前、全身炎に包まれた火炎魔人。夜の者が行き交う帝都で、一体何が起こるのか…。

F/O

人の心に巣くう闇を美しく描いたダークミステリーです。最後に明かされる真実にあっと驚かされます。

妖しげな世界観に思わず引き込まれる、おすすめの1冊です。

4-10-124022-1



オーブランの少女 (深緑 野分 // 著, 東京創元社, 2013年)

第7回ミステリーズ! 新人賞佳作

解説にもある通り、この作家「今までどこに居たんですか?」と問いたくなる位「うまいなあ」と思う作品でした。良作です。

F/F

次作が読みたくて『戦場のコックたち』は思わず購入する程です。新作を待っています。

978-4-488-01778-1



・『戦場のコックたち』(深緑 野分 // 著, 東京創元社, 2015年)
※上記も所蔵しています。ご覧ください。



女王はかえらない (降田 天//著, 宝島社, 2015年)

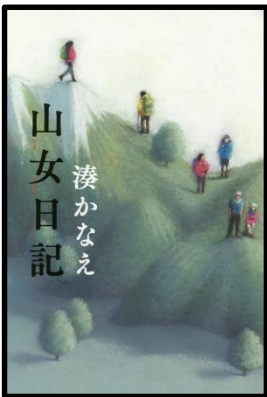
2015年第13回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞した、学園ミステリーです。最終章で明かされる事件の真相は鳥肌がたつほど衝撃的で読み終わった後、思わず読み返したくなる1冊です。

〈あらすじ〉

クラスの女王だったマキは、転校生エリカにその座を奪われた。2人の権力争いは徐々にエスカレートし、クラスメイト全員を巻き込むことになる。クラスメイトはそれぞれ悩みを抱えながら学校生活を送っていたが、夏祭りの夜をきっかけに思いもよらない展開になっていく。

F/フ

978-4-8002-3547-3



山女日記 (湊 かなえ//著, 幻冬舎, 2014年)

7つの短編からなる連作長編。日々様々な悩みや思いを抱え生活する登場人物達が、山に登りながら自分なりの答えを見出し、前向きになる姿に清々しさを感じます。

美しい景色や高山植物、登山グッズや登山中の飲食シーンの描写も面白く、読み終わると山に行きたくなる作品です。

F/ミ

978-4-344-02601-8



京都寺町三条のホームズ [1] (望月 麻衣//著, 双葉社, 2015年)

京都を舞台にした、骨董品鑑定士による謎解きミステリーです。

謎解きが進む中で、美術品についても詳しく語られています。美術品について知識のなかった私でも、学ぶことができ面白いです。

そして何より、舞台となる京都の観光名所やカフェが数多く紹介されています。背景やうんちくが語られていて、とても訪れてみたくなります。実際に私は京都を訪れ、この本を読んで気になった場所を巡りました。

謎解きや、主人公の恋愛にワクワクしながらも、京都の魅力を感じられる作品です。

F/モ

978-4-575-51775-0



『京都寺町三条のホームズ』は、2018年1月現在、シリーズ9巻続刊中です。すべて松戸市立図書館で所蔵しています。



図書館員のおすすめする一冊

平成 30（2018）年 1 月発行

編集・発行 松戸市立図書館

〒271-0092 松戸市松戸 2060

TEL 047-365-5115